

新 投 稿 規 定

編集方針

- ・ 関西医科大学雑誌（以下「関西医大誌」という。）は、医療分野における研究者の研究成果の公開を目的とし、関西医科大学医学会が編集発行業務を行う雑誌とする。
- ・ 関西医大誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構の J-STAGE を利用する無料オンラインジャーナルで、毎年 1 回オンデマンド印刷で冊子体を発行する。
- ・ 関西医大誌は、原著、総説、症例報告、会議録、講座研究年報、学位論文審査要旨、寄稿その他から構成される。
- ・ 関西医大誌は、関西医科大学教員・学生、同窓生、又は関西医科大学教員に紹介された関係者からの投稿を受け付ける。なお、原著、総説、症例報告についての掲載の可否については、関西医科大学の教員 2 名以上の審査者から査読を受けなければならない。また、すべての原稿の採否や書式・体裁などについては、関西医大誌編集長が最終決定を行う。

原稿の受付及び問い合わせ

- ・ 投稿論文には、第 1 ページに原稿のカテゴリー、表題、著者名、所属及び連絡先（電話、ファックス、メールアドレス）、並びにランニングタイトル（簡略表題）を記す。
- ・ 提出原稿は印刷体で郵送するとともに、CD-R、CD-RW、USB 等の電子媒体に本文、図表、画像を収め、同封又は E メール別便にて送付する。
- ・ 電子媒体原稿は、一般的なファイル様式（文字部分は.doc、.docx や.rtf に、表は.xls、.xlsx に、画像は.tif、.jpg、.ppt、.pptx など）を用い、著者名・タイトルとともに、使用 PC（Windows 又は Mac）、アプリケーションソフト名及びそれらのバージョン等を明記する。
- ・ 原稿送付先：〒573-1010 枚方市新町二丁目 5 番 1 号 関西医科大学医学会
メールアドレス： igakkai@hirakata.kmu.ac.jp
ホームページ： <http://www3.kmu.ac.jp/igakukai/>

投稿論文の構成

原稿量は刷り上りで、原著及び症例報告で 4～8 ページ、総説が 5～10 ページ、(ミニレビューで 2～5 ページ) 程度とする。なお、刷り上り 1 ページあたり英文の場合 5000 字、和文の場合 2500 字程度である。

- ・ 総説：特定の分野や主題について、関連文献や資料に基づき総括的に論評した記事。若しくは著者のグループの研究紹介を中心とした短いミニレビュー。
- ・ 原著：医学及びその関連分野に関わる研究、開発、調査で独創性、新規性がある記事。「抄録」、「はじめに」又は「目的」、「材料と方法」、「結果」、「考察」、「引用文献」等、

及び図、表、写真、図表の説明さらに必要の場合は電子付録で構成される。

- ・ 症例報告：外来や入院での実際の経験症例を取り上げて、病歴、身体診察所見・検査所見などに基づいて、診断、治療、予後、介護・看護法などについて討議した記事。論題は「---の1例」というように記載する。
- ・ 会議録：おもに学内開催の、研究会、シンポジウム、大学院講義等の抄録・予稿集。
- ・ 講座研究年報：講座の研究概要と年間の研究実績の目録を掲載。
- ・ 学位論文審査要旨：内容の抄録及び審査結果の要旨
- ・ 寄稿その他：書式をとくに定めない。

執筆要領

- ・ 第1ページには原稿のカテゴリー、表題、著者名、所属、住所、メールアドレス、ランニングタイトルを記載する。
- ・ 用語・略語、単位：用語・略語は各分野・学会の所定のものに従い、度量衡は国際単位系(SI)を用いる。
- ・ 表、図、写真などが鮮明なもので、その種別の一連番号を記入する。

・ 和文原稿：

- a. MS-Word .docx 形式（現行の Office2007 以降）を用い、A4 判用紙に横書きで、行数は 40 で印字する。左右のマージンは約 2.5cm、上下は 3cm あけること。欧文を混ぜるときは原則として半角で印字する。

数字は算用数字とし、学名及び外国語の固有名詞は原則として原綴とする。

- b. 論文の記載順序は表紙ページに続き、内容抄録（600 字以内）、Key words（7 語以内）、本文（原著の場合は原則として緒言又は目的、材料と方法、結果、考察の順）、謝辞、COI の開示、引用文献、図表とその説明、及び英文抄録（タイトル、所属、氏名を含む）とする。

図表の説明は英文、和文（又は英文併記）を強く推奨する。

- c. 英文抄録の記載順序は表題、氏名、所属、内容抄録（500 語以内）とし、専門的知識のある人あるいは熟練者に校閲を受けた原稿を用意すること。

・ 英文原稿：

- a. 英文は MS-Word .docx 形式（現行の Office2007 以降）を用い、A4 判用紙にダブルスペースで印字する。左右のマージンは約 2.5cm、上下は 3cm あけること。
- b. 論文の記載順序は表題ページに続き、内容抄録（300 語以内）、Key words（7 語以内）、本文（Introduction、Materials and methods、Results、Discussion、の順）、謝辞、COI の開示、引用文献、図表とその説明、及び和文抄録（タイトル、所属、氏名を含む）とする。

- c. 専門的知識のある人又は熟練者に英文校正を受けた原稿を用意すること。

文献記載法

- ・引用文献は本論文に直接関係のあるものにとどめ、本文中に括弧()にて引用順に番号を付け、引用文献リストの番号と一致させる。

- ・雑誌から引用の場合

著者名（筆頭者から3名までは列記し、それ以上は「ほか」又は「et al.」）、論題、誌名、発行年、巻、巻の引用ページ（始めと終わり）、の順で記載する。なお、雑誌の略称は欧文誌で NLM Catalog: Journals referenced in the NCBI Databases、和文誌では医学中央雑誌収載誌目録など一般的なものを使用する。

記載例：

1. Belkina NV, Liu Y, Hao JJ, et al. LOK is a major ERM kinase in resting lymphocytes and regulates cytoskeletal rearrangement through ERM phosphorylation. Proc Natl Acad Sci U S A. 2009;106:4707-4712.
2. Sutçigil L, Oktenli C, Musabak U, et al. Pro- and anti-inflammatory cytokine balance in major depression: effect of sertraline therapy. Clin Dev Immunol. 2007;2007:76396.

- ・単行書から引用の場合

著者名（筆頭者から3名までは列記し、それ以上は「ほか」又は「et al.」）、編者名、書名、出版地、出版社、発行年の順で記載する。

記載例：

3. Taylor GI, Lves A, Dhar S. Vascular territories. In: Mathes S (Ed). Plastic Surgery. 3rd ed. Philadelphia, Elsevier, 2006.
4. Sauerbier M, Giessler GA. The free lateral arm flap for hand and wrist coverage. In: Cooney WP, Moran SL (Eds). Master Techniques in Orthopedic Surgery: Soft Tissue. Philadelphia, Lippincott Williams & Wilkins, 2008, pp.179-189.

- ・Web から引用の場合

World Health Organization. Comprehensive implementation plan on maternal, infant, and young child nutrition. Geneva: World Health Organization; 2014[cited 2021 Dec 23]. Available from : [http:// apps.who.int/iris/bitstream/10665/113048/1/WHO_NMH_NHD_14.1_eng.pdf](http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/113048/1/WHO_NMH_NHD_14.1_eng.pdf).

電子付録記載法

- ・J-STAGE で公開される論文には、冊子体では提供できない動画、音声、高精細写真などの資料を、電子付録として掲載することができる。下記 URL のウェブページでの J-STAGE による説明に従い、電子付録のファイル数は 5 つまでとし、ファイル容量の

上限は合計 10MB を推奨する。

(<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/GuidelineAndManuals/TAB1/-char/ja>)

- ・電子付録として掲載する資料について、本文では当該の資料名の直後に” [電子付録]” と記す。

記載例：詳細なデータは表 S1[電子付録]に示すものとする。

- ・参考文献一覧の次に、” [(電子付録の資料名) は、J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jkmu/-char/ja/>)の電子付録に掲載しています。]” と記載する。また、電子付録の表及び図の番号は、S1、S2 などとして、本文中の表及び図の番号と区別することを推奨する。

記載例：[表 S1 及び図 S1 は、J-Stage (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jkmu/-char/ja/>)の電子付録に掲載しています。]

研究倫理と法令順守

- ・ヒトを研究対象とする内容については、ヘルシンキ宣言を遵守し、倫理的に行われており、被験者及び患者からインフォームドコンセントを得ていること。また、機関の倫理委員会の承認を得ていること。
臨床研究についての国の指針に準拠していること。
- ・動物を対象とする場合にも、『SCAW の分類』に則り所属施設の動物実験委員会等の承認を得ていること。
- ・研究論文の著者は、研究成果に関連する製品を製造する企業又は競合する製品を製造する企業との金銭的取決めについて、利益相反の審査を受けていること。
- ・その他、一般的に研究者倫理にかかわることや、研究に関する法令を遵守していること。
- ・以上の点に関係する場合、審査結果（承認番号など）を論文中に記載すること。

投稿後の原稿の流れ

- ・審査は原則として編集委員及び適正な能力を有する学内外の専門家が行い、1 ヶ月以内に査読結果を著者に通知する。
- ・特別の事情のある場合、迅速審査を行い、(休日を除く) 3 日程度で通知する。
- ・改訂を求められた場合、2 カ月以内に審査者の指示に従って修正し、返送すること。
- ・掲載採用が決定された場合速やかに著者に通知する。
- ・掲載決定後でも掲載体裁や写真の質向上の目的で資料の再提出を求める場合がある。
- ・採用決定後 1 ヶ月以内に著者校正を依頼する。
- ・校正に際して組版面積に影響を与える改変や極端な組替えは許されない。
- ・著者校正後 3 週間以内に編集の全過程を終了し、記事は随時 J-STAGE に印刷前公開として掲載する。同時に著者に別刷りを送付する。

- ・ 毎年 12 月にオンデマンド印刷で当該巻の冊子体を発行する。
- ・ 全記事は、1 年以内に関西医科大学の機関リポジトリに登載する。

掲載料と審査料

- ・ 掲載料は基本料を無料とし、刷り上りが 7 頁を超える場合は、当該巻の採算により追加料金（実費）を請求する。
- ・ 迅速審査を必要とする場合、別に迅速審査にかかる手数料を必要とする。
- ・ 別刷りは 30 部まで贈呈、それ以上を必要な場合、校正の際に部数を申し出ると、オンデマンド印刷にて提供する（費用は実費）。
- ・ カラーの図表については、実費を請求する。

著作権

- ・ 本誌掲載の著作物の著作権及び複写権は、それらの掲載決定日（原稿受理日）を起点に関西医科大学医学会に帰属するものとする。なお、本学会はこれらの著作物の全部又は一部を、ネットワーク媒体を含む媒体に掲載・出版することができる。また、本誌に掲載された原稿又は図表を著者が再利用する場合、本学会の許可を得なければならない。